水俣病を現地調査

12・13両日 全国公害連絡会議

自治労を中心につくっている全国公害連絡会議が十二、十三両日水俣病を調査する。

調査団（団長野田自治労副委員長）は、連絡会議に入っている四日市ぜんそく、新潟第二水俣病、富山イタイイタイ病患者なども含めた約五十人。日程は十二日午後零時五十八分水俣駅着、第二そてついで来水し、湯の尻リハピリテーションを視察したあと、袋、茂

道、湯堂などの水俣病患者宅を五班に分かれて回る。午後七時から市公会堂で集会を開き、各公害地の体験報告、討論などを行なう。十三日は調査団、水俣病患者家庭互助会、市民会議の交流会などが予定されている。

なお全国公害連絡会議はさる六月富山市で開かれた自治労研究集会の席上結成され、公害訴訟を支援している。